

2010年3月12日

フィジー大使と意見交換を行いました

本日、駐日フィジー大使イシケリ・マタイトガ氏が来社され、フィジーを中心とする大洋州諸島地域でのクリーンエネルギー事業の展開について意見交換を行いました。

大洋州諸島地域は、フィジーやマーシャル諸島、ツバルを初め、多くの島嶼国から構成されており、地球温暖化による海水面の上昇など、世界的な気候変動の影響を受けやすいエリアとなっております。エネルギーの供給面では、依然として多くを輸入原油等に依存している一方、エリア全体の電化率は70%に留まると言われております。

このような状況から、大洋州諸島地域を構成する各国は、分散した地域で自立供給の可能な再生可能エネルギーの開発促進に地域を挙げて取り組んでおります。

今回、インターアクションは、フィジー大使に対して、太陽光発電を利用した独立電源システムの提案を行いました。このシステムでは、太陽光発電モジュール、直流交流変換装置とバッテリーがセットとなっており、電力網の届かない地域でも、少ない費用で夜間の電灯やテレビ視聴のための家庭用電源としての利用が可能となっております。

こうした取り組みを始め、今後、当社は、フィジーを中心とする大洋州諸島地域でのクリーンエネルギー事業の展開に協力してまいります。



【ご参考】フィジー大使館：<http://www.fijiembassy.jp/jp/index.html>

【お問い合わせ先】

株式会社インターアクション

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 1-1 電話(045)788-8373

ホームページ：<http://www.inter-action.co.jp>